資料2-1

新幹線を活用したまちづくり４駅合同会議

倶知安町における取組報告

倶知安町

①デザインコンセプト検討経緯

平成２６年～平成２９年度	**新幹線まちづくり検討委員会** 「駅周辺施設、市街地、周辺地域」との連携について検討し、提言書を作成。
平成３０年３月	**北海道新幹線倶知安駅周辺のまちづくり提言書を町長へ手交** 今後の課題として、駅舎については「駅舎や駅前は、駅前通り周辺との有機的な結びつきを考慮し、配置や構造を検討する必要があり、広く町民の意見を聞いて、町民が誇りに思える駅舎づくりにつなげてほしい」と町へ提言
令和元年度	**北海道新幹線倶知安駅新駅周辺整備構想を策定** 駅舎については「羊蹄山麓地域・ニセコエリアの拠点、玄関口となる」「倶知安のシンボルとなるような駅とする」こととして整理し、鉄道・運輸機構へ提出する要望書策定に向けた取組みを実施」
令和２年度	**北海道新幹線倶知安駅駅舎デザインコンセプト検討委員会** 検討委員会において町民アンケートの意見などを踏まえながら、駅舎デザインに関する要望書を作成するとともに、駅舎及び駅前広場の整備に向けた具体的な検討を行い、「羊蹄の四季の恵み～ふるさとと世界が出会う駅～」というコンセプトを定めた。

①デザインコンセプト検討経緯

北海道新幹線倶知安駅
駅舎デザインコンセプトの検討に関するアンケート実施結果

倶知安町まちづくり新幹線課では、令和12年度末(2030年度末)に開業予定の北海道新幹線倶知安駅の駅舎デザインコンセプトを検討するにあたり、町内在住の15歳以上の方を対象に、アンケートを実施いたしました。

たくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。アンケート結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

【お問い合わせ/発行者】
倶知安町まちづくり新幹線課　新幹線係
TEL:0136-56-6012　FAX:0136-23-2044

【調査概要】
○調査期間:令和2年9月1日(火)~9月18日(金)
○対 象 者 :2,000人(うち外国人121人)
○回 収 数 :681通(うち外国人18通)

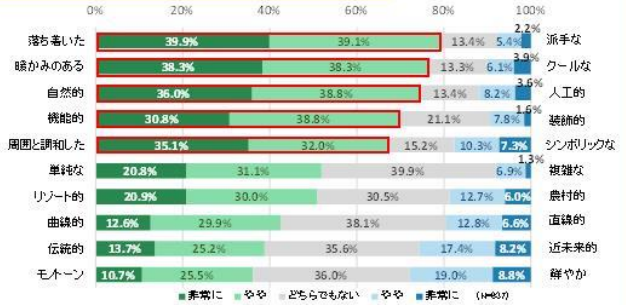
※グラフ内の(N=○)の○の数値は、設問の回答者数を意味しています。

1．駅のデザインに関するご意見

Q．新幹線倶知安駅づくりを進める上で重視するキーワードは何ですか？

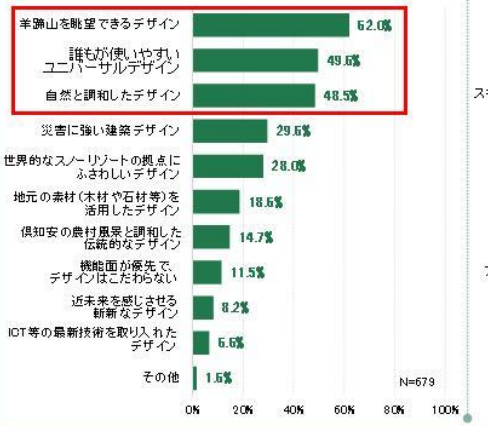
2つの相反するキーワードを用い、駅づくりを進める上で重視するキーワードを選択してもらいました。

その結果、「落ち着いた」「暖かみのある」「自然的」「機能的」「周囲と調和した」のキーワードが、6割以上支持されました。



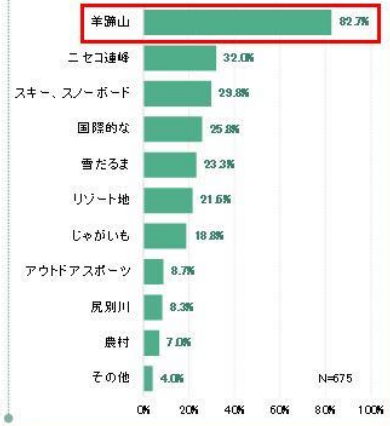
Q．駅舎にふさわしいデザインは何ですか？

「羊蹄山を眺望できるデザイン」「誰もが使いやすいユニバーサルデザイン」「自然と調和したデザイン」の3つが多く回答されました。

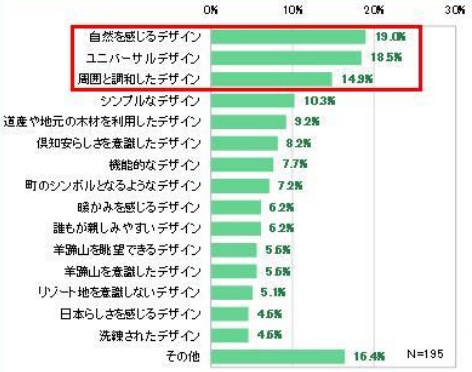


Q．駅デザインにふさわしいキーワードやモチーフは何ですか？

回答者の8割以上が、「羊蹄山」を駅デザインに最もふさわしいキーワードと回答しました。



Q．駅デザインに関してご意見・ご要望があれば教えてください。（自由記述）

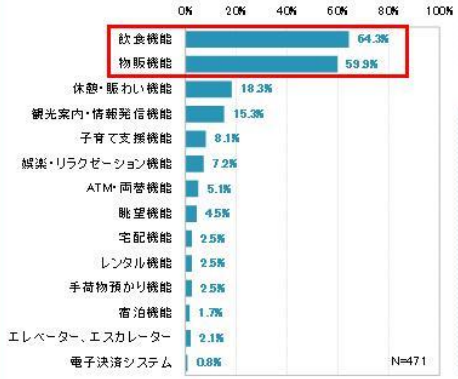


「自然を感じるデザイン」「ユニバーサルデザイン」「周囲と調和したデザイン」の3つに関して、多く回答されました。

【頂いたご意見・ご要望(一部抜粋)】
・自然や羊蹄山や尻別川、ニセコ連峰、農村の暖かみあるイメージが感じられるデザイン。(女性、50代)
・大きな荷物の人が多いので、通路を広く、エレベーターも大きなものにして欲しい。(女性、40代)
・観光客だけではなく、地元住民も利用しやすくして欲しい。(男性、40代)
・雪の良さが倶知安町の最大の魅力。雪をデザインに取り入れてほしい。(男性、50代)

2．駅舎及び駅前広場に関するご意見

Q．駅舎内にあったらいいと思う機能があれば教えてください。（自由記述）

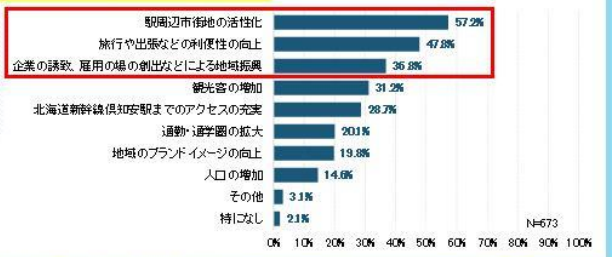


回答者の半数以上が、「飲食機能」「物販機能」に関して回答しました。

【頂いたご意見・ご要望(一部抜粋)】
・後志の物産を使ったレストランまたはカフェ。(女性、40代)
・羊蹄山やニセコ連峰が望める展望レストランまたはカフェ。(女性、70代)
・後志管内の名産品の地産地消コーナー。管内市町村のアンテナショップ。(男性、40代)
・災害時や吹雪の時に落ち着いて待機できる空間。(男性、30代)
・周辺市町村も含めた情報発信や行動をサポートしてくれるコンシェルジュ。(男性、30代)

Q．北海道新幹線倶知安駅の開業で期待することは何ですか？

「駅周辺市街地の活性化」「旅行や出張などの利便性の向上」「企業の誘致、雇用の場の創出などによる地域振興」の3つが、多く回答されました。



アンケートにご協力頂いた皆様のご意見は、「北海道新幹線倶知安駅駅舎デザインコンセプト検討委員会」での検討に活用させていただきます。ご協力いただき、ありがとうございました。

①デザインコンセプト検討経緯

令和３年度　　**北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会**
「新駅の東口広場機能（公共交通・一般車両の小規模駐車場・都市施設）について検討」

令和４年度　　**北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会**
「新駅の西口広場機能（観光送迎バス・一般車両駐車場・都市施設・転車台）について現在も検討中」

〃　　７月２５日　　**駅舎デザインに関する要望書を鉄道・運輸機構　北海道新幹線建設局へ提出**

コンセプト

羊蹄の四季の恵み
～ふるさとと世界が出会う駅～

要望事項
（１）　自然環境と調和する駅づくり
（２）　ふるさとと世界が出会う駅づくり

①デザインコンセプト検討経緯（要望書）

独立行政法人
鉄道建設・運輸施設整備支援機構
北海道新幹線建設局長　竹津　英二　様

北海道新幹線倶知安駅の整備に関する

要望書

令和４年　月
北海道倶知安町

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の令和 12 年度末開業に向けた貴機構のご尽力に対し、深く感謝申し上げます。

倶知安町では、地域住民の意見を反映させた北海道新幹線倶知安駅デザインコンセプトを作成するため、令和２年度に「北海道新幹線倶知安駅駅舎デザインコンセプト検討委員会」を設置し、デザインコンセプトの検討を行ってきました。

デザインコンセプトの検討に際しては、町民2,000名を対象としたアンケート調査を実施し、調査結果を踏まえるとともに、地域をとりまく状況の変化も念頭に置きながら、羊蹄山麓の中心都市であり、国際的リゾート地を抱える本町らしさを合わせもったデザインコンセプトを作成しました。

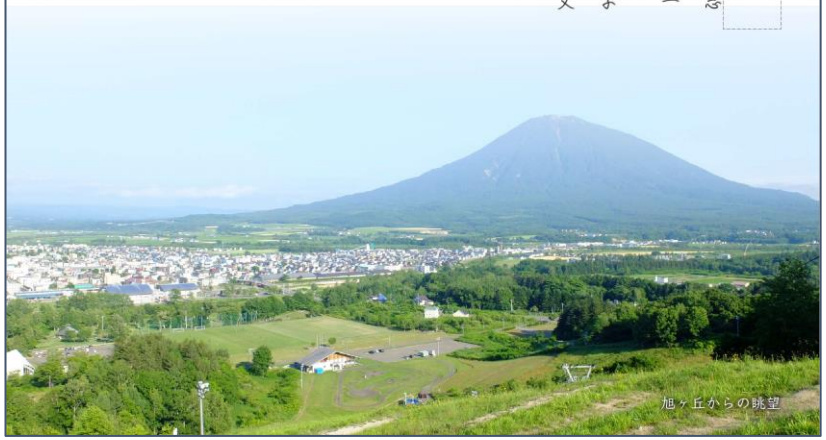
さらに、令和３年度には、デザインコンセプトに込めた地域住民の思いを、駅デザインに関する要望事項として取りまとめました。

また、本町では、北海道新幹線倶知安駅の東側に、駅舎と合築する形で都市施設の整備を検討しています。都市施設の検討状況につきましては、参考資料として掲載させていただきました。

本町としましては、国際的なリゾート地であることを意識しつつ、新幹線開業に伴い、羊蹄山麓地域の玄関口である倶知安駅と周辺地域の更なる賑わい創出につながる計画及びまちづくりを進めていきたいと考えております。

つきましては、北海道新幹線倶知安駅の設計に向けて、新幹線駅に寄せる地域の期待をご理解頂き、本紙にまとめました駅舎デザインコンセプトを最大限反映くださいますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

倶知安町長
文　字　一　志



旭ヶ丘からの眺望

①デザインコンセプト検討経緯（要望書）

北海道新幹線倶知安駅デザインコンセプト

羊蹄の四季の恵み

～ふるさとと世界が出会う駅～

羊蹄山は、豊かな自然に恵まれた羊蹄山麓地域の象徴であり、四季折々に様々な恵みをもたらしてくれる、地域住民の心の拠り所ともいえる存在です。「羊蹄の四季の恵み」という言葉には、羊蹄山やニセコ連峰の恵みに感謝し、四季を通じての自然景観と調和する新駅づくりを目指したいという思いを込めています。

さらに、先人が築きあげてきたこの地域に生活する全ての人々を「ふるさと」という言葉で、新幹線を利用して国内はもとより世界中から訪れる人々を「世界」という言葉で表現しました。また、地域住民と来訪客双方にとって親しみやすい空間で交わることで、新駅周辺を含めた新たな賑わいを創りあげたいという思いを「ふるさとと世界が出会う駅」という言葉で表現しました。

駅デザインに関する要望事項

01 自然環境と調和する駅づくり

羊蹄山を眺望できる駅 ・・・・・・ P.4

四季を感じられる駅 ・・・・・・ P.5

地域産材を活用した駅 ・・・・・・ P.6

ふるさとと世界が出会う駅づくり 02

地域の賑わいを感じられる駅・・P.7

周辺景観と調和した駅・・P.8

世界的なリゾート地の玄関口にふさわしい駅・・P.9

①デザインコンセプト検討経緯（要望書）

01 自然環境と調和する駅づくり

羊蹄山を眺望できる駅

羊蹄山麓地域の象徴である羊蹄山を都市施設やホーム等から眺望できるようにする。

■ＪＲ倶知安駅（R3.6 時点）

【駅舎２階からの羊蹄山の眺望】

■北陸新幹線　上越妙高駅（自由通路）

【妙高連山を一望できる展望デッキ】

■FUJIYAMA ツインテラス

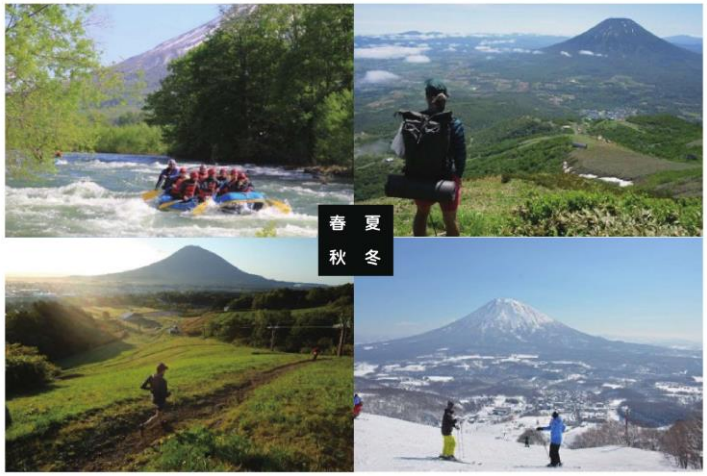
■サンモリッツ駅（サンモリッツ：姉妹都市）

■WITH　HARAJUKU（ＪＲ原宿駅前）

四季を感じられる駅

羊蹄山麓地域は羊蹄山をはじめニセコ連峰、清流尻別川など豊かな自然に囲まれており、四季折々に様々な景観が楽しめる地域となっている。地域外からの来訪者が、この地域の豊かな四季を感じられるよう駅とする。

■倶知安町の四季



■北陸新幹線　飯山駅（都市施設）

【飯山市の四季を表現した柱】

①デザインコンセプト検討経緯（要望書）

01 自然環境と調和する駅づくり

地域産材を活用した駅

地域で産出される木材（トドマツやカラマツ等）などの自然素材を使用し、暖かみを感じられる駅とする。

■後志地域の代表的な樹種と活用イメージ

【JR 天塩中川駅の待合室】

【北海道議会庁舎】

■北陸新幹線　飯山駅（自由通路）

■京王線高尾山口駅

■北陸新幹線　長野駅（駅ビル）

出典：JR東日本建築設計 HP

■オスロ・ガーデモエン国際空港駅（ノルウェー）

02 ふるさとと世界が出会う駅づくり

地域の賑わいを感じられる駅

新幹線を利用して日本はもとより世界中から訪れる来訪者が、地域の伝統や文化、賑わいを感じられる駅とする。

■北陸新幹線　飯山駅（都市施設）

■バンクーバー空港（フードコート）

■バンクーバー空港（カナダ）

■ウィスラービジターセンター（カナダ）

■日向市駅

出典：小野寺康都市設計事務所 HP

■北陸新幹線　金沢駅（改札内待合室）

【待合室の壁面を活用した工芸品の展示】

①デザインコンセプト検討経緯（要望書）

要望書

02 ふるさとと世界が出会う駅づくり

周辺景観と調和した駅

駅前通りの街並みや倶知安駅の背後に見えるニセコ連峰など駅周辺の景観と調和した駅とする。

■ＪＲ倶知安駅及びその周辺の景観

【駅前通りからJR倶知安駅を臨む】

【旭ケ丘総合公園から見たJR倶知安駅と市街地】

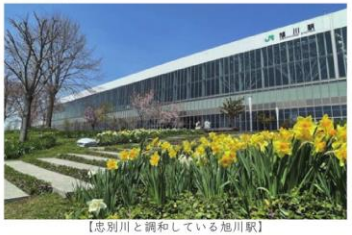
【JR倶知安駅（西側）の景観】

駅前通りにおける景観づくり方針（案）

歩く楽しみを感じて集まり
にぎわい広がる駅前通り

◆安全・安心で分かりやすい歩行空間の確保
◆空への広がりのある明るい道路空間の確保
◆歩行を促す賑わいがあり居心地の良い空間づくり
◆統一感のある街並みづくり

■JR旭川駅



【忠別川と調和している旭川駅】

【忠別川沿いの緑地空間と旭川駅】

世界的なリゾート地の玄関口にふさわしい駅

倶知安駅は、アジアを代表するオールシーズンリゾートの玄関口として広く世界中の方々が利用することが想定されることから、世界的なリゾート地の玄関口にふさわしい駅とする。

■カルガリー国際空港（カナダ）

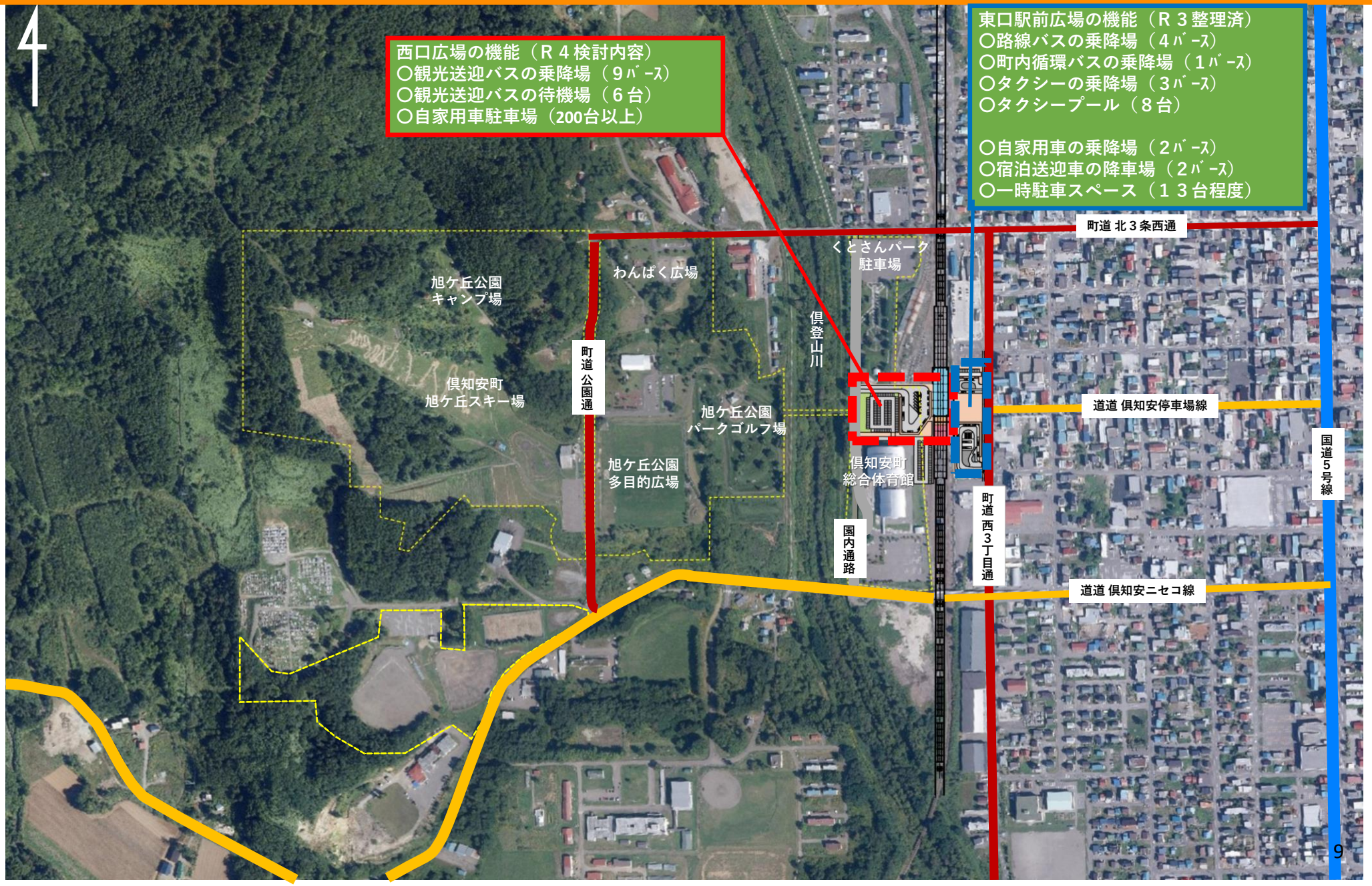
■チューリッヒ国際空港（スイス）

■バンクーバー国際空港（カナダ）

■高輪ゲートウェイ駅

■UNWIND　HOTEL＆BAR（札幌市）

②駅前広場と２次交通について



②駅前広場と２次交通について

① 東口駅前広場

令和３年度にレイアウトを整理済み。
現在は、北海道と協議中。

注意事項

東口駅前広場のレイアウトについては、今後、変更になる場合があります。

---

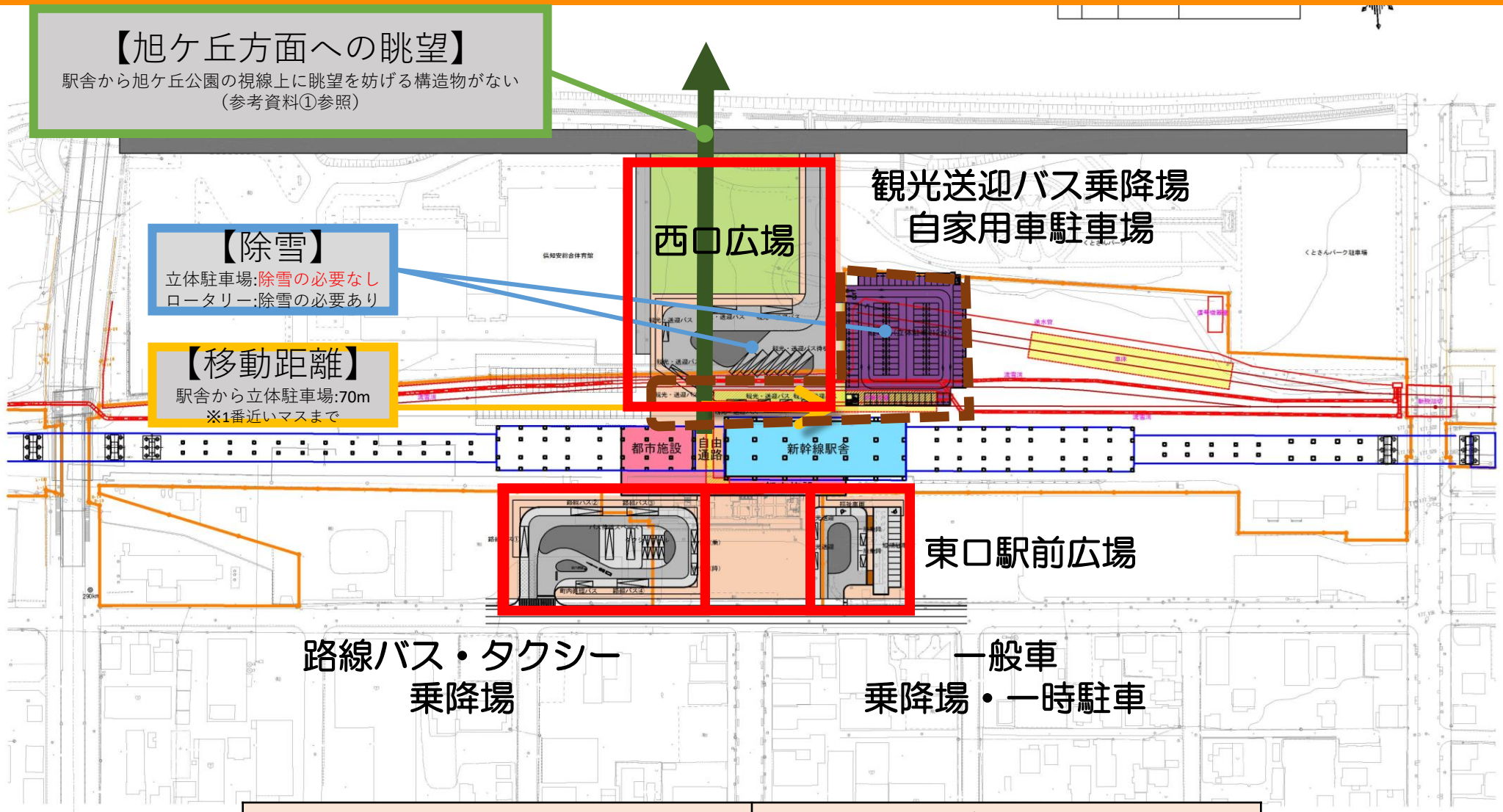
② 西口広場

令和４年度現在、検討中。

注意事項

西口広場のレイアウトは現在、検討中のレイアウトの一例であるため、今後、変更になる場合があります。

②駅前広場と２次交通について（レイアウトは検討中の１例です）



メリット	デメリット
• 周辺景観の眺望を確保。 • 立体駐車場部分の除雪対策が不要。	• ロータリー部分の除雪対策が必要。 • JRから購入する土地が最も多くなる。

③新幹線駅を活用したまちづくりと観光振興

新幹線駅の位置づけ
- 羊蹄山麓地域・ニセコエリアの拠点となる駅
- 駅を中心として市街地の活性化を図る etc

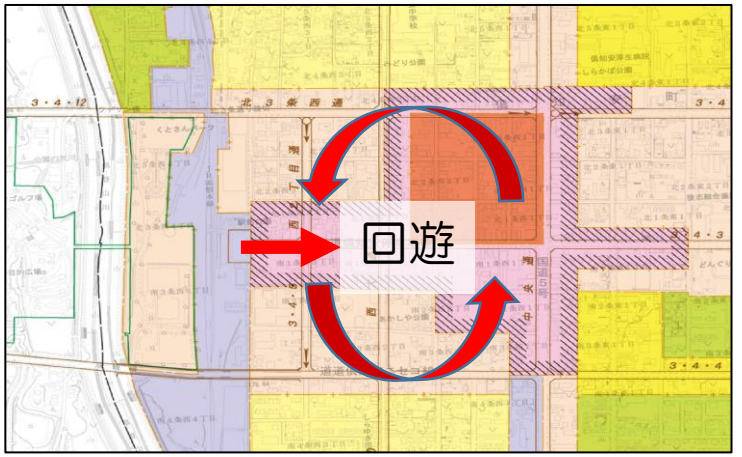
①新幹線駅からの眺望

このエリアの象徴でもある羊蹄山の眺望の確保。

（例）都市施設屋上からの眺め

②駅前通りへ人々を導く空間づくり

駅前通りとの連続性の創出により、賑わいのある駅前通りへと人々を導く。



③市街地への回遊

新幹線駅を利用される方々が、市街地へと回遊するような仕組みづくりが必要。

④観光案内や情報発信

世界各国から訪れる方々に対し、適切な観光案内や情報発信の強化　etc